

令和3年度 事業報告

I はじめに、新型コロナウイルス感染症拡大の対応について

公益社団法人千葉県労働基準協会連合会（以下、「連合会」という。）では、行政当局のご指導の下、地区労働基準協会（以下、「地区協会」という。）、関係機関・団体との連携・協力をより深め、県内の労働者が安心して安全かつ健康に働ける職場環境の実現を目指して、働き方改革を推進するための啓発事業をはじめ、安全衛生関係講習等事業、労働問題相談センター事業、千葉県産業安全衛生会議の運営等を年間事業計画に基づき積極的、効果的な事業運営に努めました。

令和2年4月に新型コロナウイルス感染症による初の緊急事態宣言が発令された以降も、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言の再発令、延長などが続き収束が見えない状況にあります。令和3年度中は延べ約7か月間（令和3年4月20日～9月30日、令和4年1月21日～3月21日）にわたり、まん延防止等重点措置又は緊急事態宣言の措置期間となり、年間を通じて感染防止策等を講じなければならない状況にありました。

連合会としては、行政当局、関係機関・団体、近県の労働基準協会連合会等とも連携しながら、特に、安全衛生関係講習等事業については、受講者、講師、職員ら関係者の健康の確保を第一に考えて、受講定員の制限をはじめ各種感染防止策の充実を図りました。一方で、特定化学物質障害予防規則の改正に伴う特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習の受講希望者の急増に対応するため、臨時講習等を開催するなど、受講者の要望に応える工夫もしました。

II 新型コロナウイルス感染症の影響（以下、「コロナ禍」という。）による各種事業の状況

令和3年度の各種事業は、千葉県産業安全衛生大会の会場開催中止以外は、ほぼ年間事業計画に基づき実施することができましたが、事業の参加者数等は平成30年度のコロナ禍前には程遠い状況が続いています。

① 安全衛生関係講習等(技能講習、教育等)

- ・地区協会の協力による出張講習を休止
- ・受講定員の制限により減少した受講機会を確保するため講習開催回数を追加
- ・局所排気装置等の定期自主検査者講習を閉講(昭和59年より49回開催)

② 千葉県産業安全衛生会議

- ・千葉県産業安全衛生大会(令和3年10月22日)
会場開催を中止し、表彰者名簿と特別講演の概要を会報に掲載、特別講演の動画を連合会ホームページより公開
- ・年末年始無災害運動安全パトロール(令和3年12月2日)
規模縮小(1現場、少人数)で実施

③ 千葉県衛生管理者協議会

- ・第1回例会(令和3年8月27日)
参加者数減少(平成30年度48名、令和元年度67名、2年度中止、3年度28名)
- ・第2回例会(令和4年2月28日)
参加者数減少(平成30年度66名、令和元年度中止、2年度23名、3年度28名)

④ 全国労働基準関係団体連合会(全基連)千葉県支部事業

- ・外国人技能実習制度関係者養成講習(令和3年6月2日～6月4日)
受講者数減少(平成30年度107名、令和元年度195名、2年度45名、3年度68名)

⑤ 中央労働災害防止協会(中災防)関連事業

- ・中災防主催、連合会共催の研修等
受講者数減少(平成30年度239名、令和元年度225名、2年度71名、3年度116名)

Ⅲ 実施事項

1 安全衛生関係講習等(技能講習、教育等)

- ① 各種技能講習の適正、円滑な実施に努め、各種安全衛生教育等の内容の充実を図るとともに、コロナ禍での受講定員の制限等に対応すべく、開催回数を例年より追加しました。

令和3年度の講習等実施状況は、コロナ禍などにより、従来実施していた地区協会の協力による出張講習を休止したことで、その分申込者数が減少しました。

一方、特定化学物質障害予防規則の改正に伴う特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習について、業界団体、建設業の協力会、製造業の協力会などからの要望で臨時講習等の開催(14回、受講者1,233名)したことにより、別表「令和3年度安全衛生関係講習等実施状況」のとおり、講習等申込者数の総計は559名、7%増加(令和2年度7,518名、令和3年度8,077名)となりました。

- ② 技能講習修了試験問題をテキストの改訂等に合わせて見直しました。
③ 受講者の利便性を考慮して、全ての講習を年2回以上開催しました。
④ 局所排気装置等の定期自主検査者講習については、他県に先立ち昭和59年12月に開講しました。これまでの37年間で49回開催し、2,848名の検査者を輩出してきましたが、機械設備の老朽化、コロナ禍による受講者の減少などにより、令和4年1月の講習をもって閉講となりました。

2 労働問題相談センター

地区協会の協力により労働問題相談センターを開設し、無料相談を実施しました。

コロナ禍に伴う解雇、休業等の相談が増加した相談センターもありましたが、外出自粛に伴う相談件数の減少により、令和3年度より相談センター開設日を一部縮小(月間延べ24日を19日)したところ、表1のように年間の相談件数は減少(令和2年度290件、令和3年度239件)したものの、利用率は若干の増加(令和2年度1.01件/日、令和3年度1.05件/日)が見られました。

また、相談センター事業が会員サービスや会員拡大に繋がるように地区協会と連携を図りながら、地区協会のホームページ、会報を活用するなど広報に努めました。

なお、個別相談に当たり、引き続き、迅速、丁寧、適切な回答に努め、利用者を第一に考えた対応を心掛けました。

表1 労働問題相談センターの相談件数、利用率

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数(件)	326	294	290	239
開設日数(日)	264	276	288	228
利用率(件/日)	1.23	1.07	1.01	1.05

3 千葉県産業安全衛生会議

- ① 第1回千葉県産業安全衛生会議(令和3年6月18日)
令和2年度の事業実施報告・収支決算書、令和3年度の事業実施計画(案)・収支予算(案)を審議しました。
- ② 第2回千葉県産業安全衛生会議(令和3年9月6日)
令和3年10月22日開催予定の千葉県産業安全衛生大会について、コロナ禍により会場開催の中止を決定しました。
- なお、表彰状の授与は千葉労働局長及び各推薦団体が個別に行い、会報「千葉労基連」令和3年11月号に表彰者名簿を掲載したほか、令和4年1月号に千葉労働局長表彰式の様子を掲載しました。

さらに、特別講演のソナエルワークス代表 高荷智也氏による「BCP・事業継

統計画の前提！ 千葉で生じる自然災害からパンデミックまでを学ぶ」については、その概要を会報令和3年11月号に掲載したほか、動画を連合会ホームページより公開しました。

③ 令和3年度年末年始無災害運動(令和3年12月1日～令和4年1月15日)

毎年作成・配布の広報用ちらし、ポスター、千葉県産業安全衛生会議の名入りのぼりなどを活用して、構成員の他に地区協会、労働基準監督署とも連携して周知を図りました。

また、年末年始無災害運動安全パトロール(令和3年12月2日)は、例年より規模を縮小して、三菱重工株式会社施工の「姉崎火力発電所発電設備建設工事現場」で、千葉労働局長、千葉労働基準監督署長ほか千葉県産業安全衛生会議構成員が参加して実施しました。

4 千葉県衛生管理者協議会

協議会会員の増強について、連合会ホームページによる募集のほか、勧誘チラシを衛生管理者受験対策実践講習、衛生管理者能力向上教育、衛生推進者養成講習など関係する講習・教育時に配布、千葉産業保健総合支援センターなど関係機関での配布にも努めました。

第1回例会(令和3年8月27日)では、次の講演を行いました。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言中でもあり、参加者は28名に留まりました。

講演①「最近の労働衛生行政」

千葉労働局労働基準部健康安全課長 吉田明生 氏

講演②「労働衛生管理～労働衛生工学の視点から～」

近藤労働衛生コンサルタント事務局長 近藤充輔 氏

第2回の例会(令和4年2月28日)では、次の講演を行いました。新型コロナウイルスまん延防止重点措置の延長期間中でもあり、参加者は28名に留まりました。

講演①「映画・小説に見る労働衛生の温故知新」

たじま安全衛生好楽事務局長 労働衛生コンサルタント 但馬明雄 氏

講演②「衛生管理者等に役立つ 労働衛生保護具について」

株式会社重松製作所 管理本部研究部長付主任部員 久米史郎 氏

なお、新型コロナウイルス感染症対策などの情報をメールで会員に発信しました。

5 働き方改革の推進に係る連携協定事業

一般社団法人千葉県経営者協会、千葉県社会保険労務士会及び連合会の三者共催による「労働法フォーラム」を令和3年10月21日に開催しました。①高年齢者雇用をめぐる法改正と法的留意点、②労働条件変更のポイントと法的留意点、③労働法に関する近時の厳選重要判例の検討の3テーマについて弁護士による講演で延べ約200名が参加しました。

また、「働き方改革推進相談窓口」を千葉県社会保険労務士会事務所内に開設して広報に努めました。

6 全国労働基準関係団体連合会(全基連)千葉県支部事業

① 外国人技能実習制度関係者養成講習

技能実習責任者講習、技能実習指導員講習、生活指導員講習の3コースの養成講習を開催しました(令和3年6月2日から同月4日までの3日間、延べ68名参加)。

② 分かりやすい労働条件セミナー(高校生・大学生等対象)

高校1校、大学等3校の4校でセミナーを実施しました(令和3年9月30日から令和4年2月18日の間に、延べ322名参加)。

- ③ 個別労働紛争の防止・解決のための労働法制普及・啓発事業
個別紛争解決研修の受講勧奨、広報を行いました。
- ④ 外国人在留支援センターにおける外国人特別相談・支援室(安全衛生班)の業務
安全衛生班の利用勧奨、広報を行いました。

7 中央労働災害防止協会(中災防)関連事業

(1) 委託、共催事業の適正な実施

① 中小規模事業場安全衛生相談事業

中小規模事業場の安全衛生水準の向上に寄与するため、電話、メール、来所等による安全衛生相談を日常的に実施しました(令和3年度相談件数135件)。

② セミナー、研修会等

中災防主催、連合会共催の表2の研修等について、令和3年度は中止せず予定どおり開催しました。受講者数は令和2年度より増加(令和2年度71名、令和3年度116名)したものの、コロナ禍による大幅な受講定員の制限もあり、コロナ禍前の平成30年度の受講者数の半分以下となりました。

表2 中災防関連事業の実施状況

研修等の名称	平成 30年度	令和		
		元年度	2年度	3年度
経営幹部のための安全衛生セミナー	6/4 68名	6/3 43名	6/5 中止	6/21 16名
安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務研修	3/4 18名	3/6 中止	7/17 12名	7/16 21名
KYTトレーナー研修	(1回目) 8/2-3 71名	8/1-2 79名	8/4-5 29名	8/5-6 30名
	(2回目) 11/8-9 71名	11/7-8 84名	11/5-6 30名	11/9-10 30名
事業場内メンタルヘルス推進担当者養成研修	9/3-4 11名	9/9-10 19名	12/9-10 中止	12/8-9 19名
年間回数・受講者数の計	5回 239名	4回 225名	3回 71名	5回 116名

(2) 中小企業無災害記録証、広報啓発事業

① 中小企業無災害記録証

無災害記録証により、安全衛生活動の底上げにつながるよう制度の周知に努め、令和3年度には、次の6事業場に授与されました。

- ・メタルリサイクル株式会社 千葉営業所 努力賞(第一種) 令和3年 4月授与
- ・中田屋株式会社 千葉工場 銅賞(第三種) 令和3年 7月授与
- ・株式会社スノウチ 進歩賞(第二種) 令和3年 7月授与
- ・リバー株式会社 船橋事業所 進歩賞(第二種) 令和3年 10月授与
- ・株式会社JFEメカフロント千葉 銅賞(第三種) 令和3年 12月授与
- ・シンプレスジャパン株式会社 木更津工場 進歩賞(第二種) 令和4年 1月授与

② 各種広報啓発事業

全国安全週間、全国労働衛生週間、全国産業安全衛生大会 in 東京、年末年始無災害運動等、中災防が主体的にかかわる事業に対し、広報啓発等を積極的に推進しました。

8 広報の手法、内容の充実

連合会ホームページに行政からのお知らせを随時掲載するなど情報発信の充実に努めました。

なお、会報「千葉労基連」は、昭和34年6月創刊の「千葉労基ニュース」から通算で600号を令和3年3月に達成し、その後も隔月発行を続けています。

9 連合会等組織の基盤強化

① 連合会の賛助会員数は、表3のように令和3年度末(令和4年3月31日)269会員(5会員、1.8%減少)です。

なお、地区協会も会員の減少傾向が続いており、地区協会全体で令和3年度末(令和4年3月31日)4,911会員(31会員、0.6%減少)です。

組織の根幹ともいふべき会員の長期間にわたる減少に歯止めをかけるべく、連合会、地区協会が連携して対策に取り組みましたが、コロナ禍による景気悪化も影響して減少傾向に歯止めがかかっていません。

表3 会員の異動状況

平成2年度末 賛助会員数	令和3年度中の異動数							令和3年度末 賛助会員数	
	入会			退会					
274	0			5				269	
地区協会 会員数	千葉	船橋	柏	銚子	館山	君津	茂原	成田	東金
令和3年度末 賛助会員数	93 (-4)	39	34 (-1)	11	8	24	12	18	30
令和3年度末 地区協会会員数 4,911(-31)	795 (-8)	1,015 (+2)	767 (-20)	428 (-9)	456 (+23)	364	330 (-10)	360 (-3)	396 (-6)

② 公益社団法人として、安定的・継続的に公益事業をしていく必要から将来的な経費の低減を図るため、事業運営安定化基金取扱規程、講習会館等確保整備基金運用規程、千葉労基連講習会館(仮称)建設計画に基づき、基金への積立をすることとしています。コロナ禍による減収により令和2年度は積立を中断せざるを得ない状況でしたが、令和3年度は、法令改正による特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習の臨時講習等の開催での増収により積立をすることができました。

IV 会議報告

1 定時総会

令和3年 5月20日(木) 千葉県経営者会館 (来賓縮小、表彰式等を省略)

2 理事会

令和3年 4月22日(木) 千葉県経営者会館

令和3年 5月20日(木) 千葉県経営者会館

令和3年 11月17日(水) 千葉県経営者会館

令和4年 3月24日(木) 千葉県経営者会館

3 地区協会事務局長会議

令和3年 8月23日(月) 千葉県経営者会館

附属明細書

別表 令和3年度(4月～3月) 安全衛生関係講習等実施状況

講習名	協会別	令和2年度 4月～3月A			令和3年度 4月～3月B			前年比 (B-A)			
		申込者数	開催回数	1回あたり人数	申込者数	開催回数	1回あたり人数	申込者数	回数	1回あたり人数	
登録技能講習	特定化学物質及び四列鉛鉛等作業主任者	連合会	2,125	28	75	3,115	37	84	990	9	9
	有機溶剤作業主任者	連合会	1,341	18	74	1,746	21	83	405	3	9
		柏	46	2	23						
		成田	246	5	49						
		東金	31	1	31						
	有機溶剤作業主任者 小計		1,664	26	64	1,746	21	83	82	-5	19
	石綿作業主任者	連合会	216	3	72	275	4	68	59	1	-4
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	連合会	1,435	19	75	1,710	21	81	275	2	6
		柏	60	2	30						
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 小計		1,495	21	71	1,710	21	81	215	0	10
	鉛作業主任者	連合会	48	2	24	60	2	30	12	0	6
	7°以上機械作業主任者	連合会	67	2	33	160	2	80	93	0	47
	乾燥設備作業主任者	連合会	184	3	61	231	4	57	47	1	-4
	ガス溶接	千葉	60	3	20						
		船橋	60	3	20						
		柏	18	1	18						
		君津	97	2	48						
	ガス溶接 小計		235	9	26						
	玉掛け	千葉	171	6	28						
船橋		120	3	40							
柏		17	1	17							
銚子		30	1	30							
君津		151	4	37							
東金	20	1	20								
玉掛け 小計		509	16	31							
床上操作式クレーン運転	船橋	17	1	17							
登録技能講習計		6,560	111	59	7,297	91	80	737	-20	21	
登録養成講習	安全衛生推進者養成講習	千葉	149	4	37						
		船橋	95	2	47						
		柏	43	2	21						
		銚子	14	1	14						
		君津	53	2	26						
		成田	19	1	19						
	東金	20	1	20							
安全衛生推進者 小計		393	13	30							
衛生推進者養成講習	連合会	102	3	34	121	4	30	19	1	-4	
登録養成講習 小計		495	16	30	121	4	30	-374	-12	0	
その他講習	有機溶剤作業主任者能力向上教育	連合会	24	1	24	40	2	20	16	1	-4
	安全管理者能力向上教育	連合会	12	1	12	44	2	22	32	1	10
	第1種衛生管理者能力向上教育	連合会	36	2	18	41	2	20	5	0	2
	局所排気装置等の定期自主検査者講習	連合会	32	1	32	71	2	35	39	1	3
	産業用ロボットの教示、検査等業務の特別教育	連合会	71	3	23	81	3	27	10	0	4
	第1種衛生管理者受験対策実践講習	連合会	213	4	53	276	5	55	63	1	2
	第2種衛生管理者受験対策実践講習	連合会	58	4	14	72	5	14	14	1	0
	管理監督者・労務担当者講習	連合会	17	1	17	34	2	17	17	1	0
その他講習 小計		463	17	27	659	23	28	196	6	1	
総計		7,518	144	52	8,077	118	68	559	-26	16	